

る(下図表)。このサイクルをクリーニング事業者側も意識して啓発を行うことが、利用者の理解度・納得度を上げることにつながると考え、本提言の基調テーマにも据えている。

家庭科の教科書の記述がどうなっているのか一度読んでみることは学校教育に限らず、今後の利用者啓発全般に活かすヒントを得るきっかけになる。そして「どう洗濯やクリーニングについて説明するのが分かりやすいのか」を考えることで、利用者の目線に立った視点を養うことができる。

なお、中青会では家庭科の教科書で紹介されている例を参考に、一度着用した衣類は目に見える汚れやシミがなくても汗や垢汚れが付着していることを、タンパク質に反応する試薬(ニンヒドリン試薬)を用いて可視化する実験を行い動画を制作した。この動画を各出前授業や店頭で活用できるようにYouTubeにも公開している。

●関連記事 クリーニングニュース2018年3月号掲載

「正しい洗濯行動を発信するために 家庭科の教科書・出前授業研究」

●教科書の購入方法

教科書を学校に納入している書店や教科書・一般書籍供給会社で購入できる。また、都道府県が設置する教科書センターで誰でも閲覧が可能。

- ・一般社団法人全国教科書供給協会 <http://www.text-kyoukyuu.or.jp>
- ・文部科学省 教科書Q & A <http://www.mext.go.jp>
トップページ→右上検索窓で「教科書Q & A」と検索

●中青会制作・ニンヒドリン試薬実験動画(約6分)

- ・中央青年部会 <https://www.cleaning-seinenbu.net>
トップページ→メニューより「出前授業関連動画」
→「ニンヒドリン試薬を使ったワイシャツの汚れを確認する実験」
※ password:「vision」(半角小文字)



実験では試薬の反応で汗や皮脂汚れを可視化することができる

